（本號い（圖）　明治廿八年四月廿五日　木曜日　（壬寅）　第四千二百六十五號　（定價金二錢五厘）

時事新報

明治廿八年四月廿五日　木曜日　（壬寅）
皇紀二千五百五十五年
西暦一千八百九十五年
二百五十五日

時事新報

京濱間の電氣鐵道

今度東京と横濱との間に輕便電氣鐵道を敷設し毎五分間に客車を運轉するの計畫ありと聞き意義は取敢へず大に賛成を表する者なり抑も現今我國に於ける鐵道業の方法は極めて不整頓にして種々の缺點殆んど枚擧するに暇あらずと雖も就中最も改良の急を要するものは即ち汽車發着の度數なり全國の鐵道業者は何れも申し合せたる如く只管經費を節減して以て純益を大にせんみをにのみ汲々たれば從て一切の改革新工風を嫌忌して成丈け舊來の營業方を續く長く維持せんみをを勉むる者酌々皆然り蓋に公衆の便利の爲めに列車發着の度數を增加するが如きは彼等の最も好まざる所にして乘客山の如く停車場に集りて待合所の混雜名狀す可らざるを見ても更に顧着するみをなく唯出來る限り多人數を集めて一時に之を輸送し以て列車運轉の費用を省かんみをを是れ勉るは即ち方今我國に於ける鐵道營業の實況なり京濱間の鐵道往來は近日聊か度數を增したれども尚は一晝夜二十二回に過ぎずして晝車と夜車との間隔は平均四十分乃至一時間なり左れば東京の乘客が新橋にて一たび汽車に乘後るゝときは一時半乃至二時間の後にあらざれば僅に七里を距てたる横濱に達するみをを得ざる譯なり誠に馬鹿氣切つたる次第にして公衆の業より不平に堪へざりし所なるに今般聞らく電氣鐵道敷設の計畫起りたるは我輩をして大に滿足せしむるものと云はざるを得ず蓋は此鐵道の競爭に由り現在の官線に損害を及ぼす可しとて心配する者なきに非ざれども一任官線が其爲めに如何なる結果を感ずるとも實際に於て毫も差支ある可らざれば天下公衆の利害は鐵道局と名くる一局部の損得に比して遙かに重大なればなり況んや新鐵道は唯京濱間を恢復するのみ所謂地方線にして東海道線とは全く其目的を異にし又貨物の運は一切此線を使はずと云ふに於てをや官線が敢て等の爲めに大損害を蒙る可しとは我輩の信ずる能はざる所なり見に角に我輩は京濱間電氣鐵道の一日も速に敷設せられんみをを世人と共に切に希望する者なり

雜報

○二月廿八日來の作戰餘聞（第七聯隊の部）

三月廿一日發　牛莊にて　記事係

我軍の夜襲

昨報以來戰鬪の模樣は少しとも変化せざれども海城に於ける前後四回の敵の來襲を除くの外我は常に攻勢を取り作戰方略は本月廿八日來の作戰餘聞に詳しかりしもの〳〵如し然るに去月二十八日我軍海城を襲撃し敵の歌舞を中斷して遂に街道に向へ進撃せんとするの際の模樣を見たり即ち大

[illegible]

[illegible]

[illegible]